

新型コロナウイルス感染症対応について

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから、3年が経過したところ。

これまで、度重なる感染拡大の波に直面しながらも、医療従事者の支え、事業者の頑張り、そして市民の皆様のご協力のもと、一丸となって難局を乗り越えてきました。

ワクチン接種をはじめとして、国の交付金を活用しながら、市独自の対応を進め、徐々に日常を取り戻す動きが活発化している。

今後においても、引き続き、市民生活と地域経済を守るため、喫緊の課題である、燃料、物価高騰への必要な対策を講じていくこととしている。

1 事業の概要及び事業費について

R2～R4新型コロナウイルス感染症対応事業（分野別）						（単位：千円）
	R2	R2→R3	R3	R3→R4	R4	計
コロナ禍での生活支援に対する給付事業	2,729,559	0	28,843	42,693	384,822	3,185,917
感染症を予防するための事業	146,750	113,717	41,756	0	43,638	345,861
地域経済への影響に配慮した支援事業	190,137	0	181,870	12,500	433,700	818,207
新しい生活様式を見据えたICT化などの整備事業	227,129	66,748	47,456	0	7,718	349,051
計	3,293,575	180,465	299,925	55,193	869,878	4,699,036
※ R2～R3は決算						
※ R3→R4、R4は予算						
R2～R4新型コロナウイルス感染症対応事業（財源別）						
	R2	R2→R3	R3	R3→R4	R4	計
国・県支出金	2,914,985	0	14,312	0	274,262	3,203,559
その他	35,767	0	0	0	0	35,767
コロナ交付金	326,932	180,465	267,975	40,000	403,833	1,219,205
一般財源	15,891	0	17,638	15,193	191,783	240,505
計	3,293,575	180,465	299,925	55,193	869,878	4,699,036
※ R2～R3は決算						
※ R3→R4、R4は予算						

2 事業の詳細

(1) 令和2年度

生活支援事業	国の特別定額給付金事業をはじめとして、ひとり親世帯や子育て世帯への給付など
感染予防対策事業	マスクや消毒液、防災用備品などの購入、公共施設等の空調改修やサーマルカメラの設置など
地域経済支援事業	市内事業者の事業継続を支援するため、飲食業や宿泊業、交通事業などの事業者への給付や家賃支援のほか、地域イベント等の開催や新事業の展開への支援など
新しい生活様式への対応事業	G I G Aスクール構想に基づく小中学校へのタブレット導入や、市内全域での光ファイバー整備など

(2) 令和3年度

生活支援事業	ひとり親世帯や低所得世帯への給付、地元食材を活用した給食の提供、福祉灯油事業など
感染予防対策事業	公共施設等の空調改修やトイレ改修、座席抗菌処理のほか、市内医療機関でのワクチン冷凍庫導入支援など
地域経済支援事業	市内事業者への家賃支援のほか、地域イベント等の開催や新事業展開への支援、市内小売業や飲食業、タクシー事業者等の利用促進など
新しい生活様式への対応事業	庁内オンライン会議環境の整備、G I G Aスクール構想に基づく小中学校への電子黒板の追加整備など

(3) 令和4年度

生活支援事業	国の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業のほか、子育て世帯臨時特別給付金給付事業、物価高騰に対する給食費等の値上げ防止対策、福祉灯油事業など
感染予防対策事業	公共施設等の空調改修やトイレ改修など
地域経済支援事業	市内事業者や農畜産業者へのエネルギー・物価高騰対策支援のほか、地域イベント等の開催や新事業の展開への支援、市内小売業利用促進など
新しい生活様式への対応事業	庁内会議におけるタブレット導入や、G I G Aスクール構想に基づく小中学校への充電器整備など

3 令和5年度における事業について

国は、令和5年度においても、地方創生臨時交付金を各自治体に交付する方針を示しており、引き続き、物価高騰対策や低所得世帯への給付により、市民生活と地域経済の下支えを図っていく。